

- 問1 日本国内における特定の発電方式の地方別割合を見ると、九州地方が約59パーセント、東北地方が約37パーセントを占めており、これら2つの地方で全体の9割以上を占めています。火山地帯を有する特定の地域に集中しているこの発電方式は何ですか。 (2026年 長野県公立入試 類似)
1. 風力発電 2. 水力発電 3. 地熱発電 4. 原子力発電
-
- 問2 岩手県で生産されている南部鉄器は、国の「伝統的工芸品」に指定されています。この「伝統的工芸品」の制度や特徴についての説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
1. 伝統を守るためにデザインの変更が一切禁止されており、現代の日常生活では使用されない 2. 100年以上の歴史があり、製造工程の主要な部分が熟練の職人による手作業である 3. 原材料のすべてを海外から輸入することが義務付けられており、安価な大量生産を目的としている 4. 21世紀以降に開発された最新の技術を用い、高度なロボットによって自動生産されている
-
- 問3 東京駅から新青森駅を結ぶ東北新幹線の沿線について、南（東京側）から順に通過する県を並べたものとして正しい組み合わせを選びなさい。 (2017年 岡山県公立入試 類似)
1. 茨城県 → 福島県 → 山形県 → 岩手県 2. 栃木県 → 福島県 → 宮城県 → 岩手県 3. 栃木県 → 茨城県 → 福島県 → 宮城県 4. 群馬県 → 山形県 → 秋田県 → 青森県
-
- 問4 海面養殖業による「わかめ類」の収穫量において、岩手県が全国の38.8%、宮城県が32.1%を占め、この2県だけで全国の約7割に達しているという統計データがあります。このように、三陸海岸沿岸でわかめ類の生産が非常に盛んである理由を説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。 (2019年 富山県公立入試 類似)
1. 海岸付近に大規模な干拓地が形成されており、真水と海水が混ざり合う広大な浅瀬が人工的に作られているから。 2. 寒流の親潮と暖流の黒潮がぶつかる潮目（潮境）に位置しており、プランクトンが豊富で魚の種類が多いため。 3. 水深200mまでの浅くて平坦な大陸棚が広がっており、太陽光が届きやすいため海藻類の成長に好都合だから。 4. 複雑に入り組んだ湾内は、周囲の地形によって外海からの波が遮られ非常に穏やかであり、養殖施設の設置に適しているから。
-
- 問5 青森県の産業構造について述べた文として、統計データの「第1次産業の就業者割合が13.2%」「漁業生産量が約17万トン」という数値の背景を最も適切に説明しているものはどれですか。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)
1. 人口密度が非常に高く、県庁所在地へのサービス業や商業の集中が進んでいるため、第3次産業の割合が周辺の県に比べて突出している。 2. 広大な土地を活かした大規模な畑作や酪農が中心であり、漁業生産量よりも農業出荷額の規模が全国で圧倒的な首位にある。 3. 冷涼な気候を活かしたリンゴ栽培などの果樹農業や、三方を海に囲まれた地理的条件を活かした水産業が地域経済の基盤となっている。 4. 太平洋側に位置する工業地域の一部として、輸送用機械などの製造業が発達しており、第2次産業が就業人口の大部分を占めている。
-
- 問6 秋田県大潟村の農業統計を全国平均と比較すると、農家一戸あたりの耕地面積が数十倍に達しており、それに伴い一戸あたりの農業産出額も非常に高い数値を示しています。このように、大潟村で大規模な機械化農業が可能となった背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 香川県公立入試 類似)
1. 湖を干拓して造成された広大で平坦な土地を活かし、計画的に入植が行われたため。 2. 山間部の傾斜地を整備し、果樹栽培を中心に少人数で効率的な作業を行ったため。 3. 伝統的な零細経営を維持しながら、複数の農家が共同で一つの土地を耕作したため。 4. 都市近郊に位置することを活かし、ビニールハウスを用いた野菜の生産に特化したため。
-
- 問7 秋田県を訪れる外国人宿泊者の動向について、2017年の統計では台湾、韓国、中国（香港を含む）からの宿泊客が全体の7割以上を占めています。これらの国や地域が属する、秋田県の観光にとって最も関わりの深い地域名称はどれですか。 (2020年 秋田県公立入試 類似)
1. 東南アジア 2. 北アメリカ 3. ヨーロッパ 4. 東アジア
-
- 問8 東北地方の中央部を縦断する奥羽山脈が、この地域の気候に与える影響についての説明として最も適切なものはどれですか。 (2023年 徳島県公立入試 類似)
1. 夏の冷たい風である「やませ」を遮ることで、太平洋側の平野部における冷害の発生を完全に防いでいる。 2. 山脈が季節風を完全に遮断するため、東北地方の太平洋側では年間を通して降水量が極めて少なくなっている。 3. 標高が非常に高いため、山脈を境に気温差が激しくなり、日本海側のみが一年中温暖な気候となっている。 4. 冬に吹く北西の季節風が山脈にぶつかると、日本海側に雪をもたらし、太平洋側を乾燥させる原因となっている。
-
- 問9 本州の最北端に位置する青森県は、北海道へと繋がる新幹線ルートの拠点となっています。この県の農業について、生産量全国1位を誇る作物と、その背景にある地理的要因の組み合わせとして適切なものを選びなさい。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
1. 産物：ぶどう、要因：扇状地が発達し、水はけが良いため 2. 産物：さくらんぼ、要因：最上川による肥沃な平野が広がっているため 3. 産物：りんご、要因：中央高地の乾燥した気候が栽培に適しているため 4. 産物：りんご、要因：緯度が高く冷涼な気候が栽培に適しているため
-
- 問10 本州の太平洋側、特に東北地方の三陸海岸付近で見られる、山地が沈み込んで形成された複雑に入り組んだ海岸線の名称と、その地域で夏に吹く、農作物に影響を与える冷たく湿った北東の風の名称の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2020年 熊本県公立入試 類似)
1. リアス海岸 - やませ 2. 砂浜海岸 - やませ 3. リアス海岸 - からっ風 4. フィヨルド - 季節風
-
- 問11 日本の農業に関する統計において、田と畑を合わせた「耕地面積」のうち、稲作が行われる「田の面積」が占める比率のことを何と呼びますか。 (2021年 香川県公立入試 類似)
1. 田の面積に占める畑の面積の割合 2. 国土面積に占める農地の割合 3. 耕地面積に占める田の割合 4. 農家数に占める専業農家の割合
-
- 問12 青森県と東京都の年齢別人口構成を比較したとき、1970年における15歳未満割合が27.8%と21.0%、2020年における高齢化率（65歳以上割合）が33.9%と22.8%であった場合、これらの数値から読み取れる変化の傾向として最も適切なものを1つ選びなさい。 (2025年 熊本県公立入試 類似)
1. 1970年に15歳未満割合が21.0%であった東京都は、2020年には高齢化率が33.9%となり、青森県よりも高齢化が進んでいる。 2. 1970年に15歳未満割合が21.0%であった青森県は、2020年には高齢化率が22.8%となり、東京都よりも高齢化が抑えられている。 3. 1970年に15歳未満割合が27.8%であった東京都は、2020年には高齢化率が33.9%となり、青森県よりも高齢化が進んでいる。 4. 1970年に15歳未満割合が27.8%と高かった青森県は、2020年には高齢化率が33.9%となり、東京都よりも高齢化が進んでいる。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 地熱発電	発電の源となる蒸気や熱水は火山活動に由来するため、全国一様に分布しているわけではなく、火山帯が位置する九州や東北に大きく偏っているのが特徴です。二酸化炭素の排出を抑える再生可能エネルギーとして、これらの地域で重要な役割を担っています。
問2	答え 2 100年以上の歴史があり、製造工程の主要な部分が熟練の職人による手作業である	伝統的工芸品は「伝統的工芸品産業の振興に関する法律」に基づき、100年以上の歴史があること、主要な工程が手作業であること、日常生活で使われるものであることなどが指定の条件となっています。南部鉄器もこれらの条件を満たし、地域の特色ある産業として受け継がれています。
問3	答え 2 栃木県 → 福島県 → 宮城県 → 岩手県	東北新幹線は、東京都から埼玉県、栃木県を経て東北地方に入ります。東北地方の内部では、南から順に福島県、宮城県、岩手県を縦断し、終点の新青森駅がある青森県へと至るルートをとっています。山形県や秋田県へは、途中の福島駅や盛岡駅で分岐する路線（山形新幹線・秋田新幹線）が通っていますが、東北新幹線本線の通過県ではありません。
問4	答え 4 複雑に入り組んだ湾内は、周囲の地形によって外海からの波が遮られ非常に穏やかであり、養殖施設の設置に適しているから。	三陸海岸に代表されるリアス海岸は、入り江が深く入り組んでいるため、外海の荒波の影響を直接受けにくい構造になっています。養殖業ではいかだなどの設備を海面に浮かべる必要があるため、波が穏やかであることは必須条件です。この地理的条件を最大限に活用することで、岩手県や宮城県ではわかめなどの養殖業が全国屈指の規模となっています。選択肢にある「潮目」の説明は漁業全般の好条件ではありますが、養殖業が盛んである直接的な理由（波の穏やかさ）とは異なります。
問5	答え 3 冷涼な気候を活かしたリンゴ栽培などの果樹農業や、三方を海に囲まれた地理的条件を活かした水産業が地域経済の基盤となっている。	青森県は三方を海（日本海、太平洋、津軽海峡）に囲まれており、暖流と寒流が交わる好漁場に近いことから漁業生産量が多くなっています。また、やませの影響を受ける冷涼な気候はリンゴ栽培に適しており、これらの第1次産業が盛んなことが、統計における就業者割合の高さに直結しています。静岡県のような工業出荷額の大きさや、北海道のような圧倒的な面積による生産規模とは異なる、東北地方特有の産業構造を理解することが重要です。
問6	答え 1 湖を干拓して造成された広大で平坦な土地を活かし、計画的に入植が行われたため。	大潟村は干拓地であり、もともと水底だった場所を陸地にしたため、非常に平坦で広大な農地が確保できました。この土地条件を最大限に活用するため、最初から大型機械の導入を前提とした計画的な入植が行われました。その結果、全国の多くの地域で見られる小規模な兼業農家とは対照的な、高収益で効率的な大規模経営が実現しています。
問7	答え 4 東アジア	秋田県における外国人宿泊者の構成は、地理的に近い近隣諸国からの来訪者が中心となっています。特に韓国、台湾、中国といった地域は、秋田県の国際観光において極めて重要な市場となっており、これらを総称して東アジアと呼びます。
問8	答え 4 冬に吹く北西の季節風が山脈にぶつかることで、日本海側に雪をもたらし、太平洋側を乾燥させる原因となっている。	奥羽山脈は、冬の湿った北西季節風を遮る壁のような役割を果たしています。このため、風がぶつかる日本海側では世界的な豪雪地帯が形成される一方、山を越えた後の乾燥した空気が流れ込む太平洋側では、冬は晴天の日が多くなります。このように、山脈の存在が地域の気候特性を決定づける大きな要因となっています。
問9	答え 4 産物：りんご、要因：緯度が高く冷涼な気候が栽培に適しているため	青森県は緯度が高く、夏場でも比較的気温が上がりにくい冷涼な気候を有しており、これが果樹、特にりんごの生育に適しています。さくらんぼの生産量1位は山形県であり、中央高地の気候を利用したりんご栽培（生産量2位）は長野県の特徴です。また、ぶどうの生産量1位は山梨県であり、甲府盆地の扇状地などが主な産地として知られています。
問10	答え 1 リアス海岸 - やませ	東北地方の太平洋側に位置する三陸海岸などは、山地が沈水してきた「リアス海岸」と呼ばれる入り組んだ海岸線が特徴です。この地域では夏、オホーツク海高気圧から「やませ」と呼ばれる冷たく湿った北東の風が吹き込むことがあります。この風は気温の上昇を妨げ、寒冷な気候をもたらすため、稲作などに深刻な冷害を引き起こす原因となります。
問11	答え 3 耕地面積に占める田の割合	日本の耕地は大きく「田」と「畑」に分けられます。この両者を合わせた合計面積に対する水田の比率を算出することで、その地域がどれほど稲作に特化しているかを知ることができます。これは土地利用の特色を示す重要な指標となります。
問12	答え 4 1970年に15歳未満割合が27.8%と高かった青森県は、2020年には高齢化率が33.9%となり、東京都よりも高齢化が進んでいる。	1970年時点の青森県は15歳未満の割合が27.8%と東京都（21.0%）より高い状態でした。しかし、その後の人口移動や少子高齢化の影響により、2020年時点では青森県の高齢化率が33.9%となり、東京都（22.8%）を大幅に上回る結果となっています。